

豊田市子ども総合計画

# 新・とよた子ども スマイルプラン

子ども・親・地域が育ち合う 子どもたちの笑顔が輝くまち豊田



平成22年3月

豊 田 市

“子ども・親・地域が育ち合う  
子どもたちの笑顔が輝くまち豊田”  
を目指して



次世代を担う子ども・青少年が心身ともに健やかに生まれ育つことは、社会共通の願いです。

こうした中、国では、平成15年7月に、「次世代育成支援対策推進法」を制定し、地方公共団体や一般企業等に対し、行動計画の策定を義務付けました。また、平成21年7月には「子ども・若者育成支援推進法」を制定し、次世代育成支援、並びに若者の自立支援のあり方に関する方針を打ち出しました。

本市におきましては、平成17年に「とよた子どもスマイルプラン」、平成19年に「同青少年編」を策定し、その基本理念である「子ども・親・地域が育ち合う 子どもたちの笑顔が輝くまち豊田」の実現に向けた取組を着実に推進してまいりました。

今回、子ども条例に規定する子ども施策の総合化を図るため「子ども総合計画」を新たに策定いたしました。本計画は、従来の計画の理念を踏襲しながら、さらに子どもの権利保障に向けた取組を具体化することにより、子どもの出生から自立までをトータルに支える計画として、重要な役割を担います。

本計画の推進にあたりましては、子どもが自ら育つ力である「子育ち」を地域社会で支えていくため、行政はもとより、家庭、学校、企業、地域それぞれの主体が、役割と責任を担う「共働」の視点を重視しております。

そのため、子どもから大人まで一人でも多くの方に、本計画の推進にかかわっていただくことが必要です。様々な主体による参加のもとで、子どもにやさしいまちづくりに向けた取組を進めてまいります。皆様の積極的なご参加とご支援をお願い申し上げます。

平成22年3月

豊田市長 鈴木 公平

# 新・とよた子どもスマイルプラン

## 目次



### 第1章 策定の趣旨

01

### 第2章 本市の子どもを取り巻く現状と課題

04

第1節 データからみる現状と課題	04
1 人口の現状	04
2 子育て家庭の状況	07
3 子どもの生活や意識の状況	08
4 子どもの心身の発達と問題行動等の状況	12
5 子育てをめぐる状況と子育て支援に関する意識	18
6 青少年の自立をめぐる意識と状況	21
7 子どもの権利・子ども条例に関する意識	24
8 子育て支援サービス等の状況	27
第2節 子どもと家庭をめぐる新たな社会情勢の変化と政策課題	31

### 第3章 計画策定の基本的視点

33

### 第4章 計画の基本理念

37

### 第5章 施策の取組方針

38

第1節 子どもの権利の意識啓発と救済支援体制の構築	38
第2節 安心して子どもを生み育てられる環境づくりの推進	38
第3節 保育・幼児教育の充実と親の仕事と生活の調和	38
第4節 家庭における親育ち力の強化	38
第5節 子育てを支える地域力の向上	39
第6節 子どもの主体性を尊重した子育ち力の向上	39
第7節 子どもが育ち学ぶ環境の整備と開かれた学校づくりの推進	39
第8節 次代を担う青少年の健全育成と自立までの支援の促進	39
施策の体系図	41

### 第6章 基本施策

43

第1節 子どもの権利の意識啓発と救済支援体制の構築	43
1 子ども、大人の権利学習支援	43
(1) 体系的な子どもの権利学習プログラムの策定と推進	43

(2)子どもの権利に関する市民意識の醸成	44
<b>2 子ども救済ネットワーク体制の構築</b>	<b>45</b>
(1)子どもの権利侵害を救済するしくみの強化	45
<b>3 虐待等の要保護児童対策の充実</b>	<b>46</b>
(1)事後的救済から早期段階での介入による虐待の予防にむけた 関係機関の連携の強化	46
<b>第2節 安心して子どもを生み育てられる環境づくりの推進</b>	<b>47</b>
<b>1 妊娠・出産と親子の健康づくり</b>	<b>47</b>
(1)安心して妊娠・出産できる環境整備	47
(2)乳幼児の健康づくり	48
<b>2 支援を要する子ども・家庭への支援</b>	<b>51</b>
(1)外国籍の子どもや親への支援等	51
(2)ひとり親家庭、障がい児のいる家庭等、支援を要する 子ども・家庭へのきめ細かな支援	51
<b>3 経済的な負担の軽減</b>	<b>53</b>
(1)不妊治療、妊娠、出産の費用負担の軽減	53
(2)医療費、養育費、教育費等の負担の軽減	54
<b>4 子育てを支援する安全・安心な生活環境の整備</b>	<b>56</b>
(1)子どもの安全・安心対策の推進	56
(2)子育て家庭が快適に暮らせる都市環境と住宅整備	59
<b>第3節 保育・幼児教育の充実と親の仕事と生活の調和</b>	<b>61</b>
<b>1 保育・幼児教育の充実</b>	<b>61</b>
(1)待機児童の解消と保育ニーズへの対応	61
(2)保育・幼児教育の質の向上と地域連携の推進	63
<b>2 親の仕事と生活の調和の推進</b>	<b>64</b>
(1)親のワーク・ライフ・バランスの理解の推進	64
(2)父親の育児参画の促進	64
<b>3 企業の取組の推進</b>	<b>64</b>
(1)企業のワーク・ライフ・バランスの理解の推進	64
(2)優良企業の取組の表彰や支援	65
<b>第4節 家庭における親育ち力の強化</b>	<b>66</b>
<b>1 相談・情報提供体制の整備と親の交流の促進</b>	<b>66</b>
(1)相談・情報提供機能の充実	66
(2)子育ての仲間づくりの場と機会の提供	68
<b>2 親の役割の啓発</b>	<b>69</b>
(1)親が主体的に子育てを行うための啓発	69
(2)自立と共に助による親育ち事業の推進	70
<b>3 子育て支援の環境整備</b>	<b>71</b>





(1)地域の子育て施設の充実	71
(2)地域の子育てサポーターの養成と支援	71
<b>第5節 子育てを支える地域力の向上</b>	<b>72</b>
1 地域における子どもの居場所づくりと見守り	72
(1)放課後子どもプランの推進	72
(2)イベント、世代間交流の推進	72
2 地域の社会資源の活用、起業等の支援	73
(1)近隣大学との共働事業の推進	73
(2)ボランティア、NPO、企業との共働の推進	73
(3)地域のニーズにあった社会的起業の支援	75
<b>第6節 子どもの主体性を尊重した子育ち力の向上</b>	<b>76</b>
1 主体性を育てる子育ち支援の推進	76
(1)子どもの主体性を育てる機会と場の提供	76
(2)親子の交流、地域との交流を通じた子育ちの推進	78
2 子どもと大人の共働のまちづくり促進	79
(1)市行政への子どもの意見表明と参加の促進	79
(2)地域づくりへの子どもの参画の促進	79
(3)子どもの情報発信の促進・支援	80
<b>第7節 子どもが育ち学ぶ環境の整備と開かれた学校づくりの推進</b>	<b>81</b>
1 豊かな心と確かな学力の育成	81
(1)確かな学力を育てる教育環境の充実	81
(2)豊かな心を育てる体験活動と心の教育の充実	81
(3)こども園・私立幼稚園・小学校・中学校連携教育の推進	83
2 共に生きる心と健やかな体の育成	83
(1)いじめ・不登校対策の充実と非行防止対策の推進	83
(2)特別支援教育の充実	84
(3)児童生徒の健康づくり	85
3 地域の教育力の活用	86
(1)地域と共に歩む学校づくり	86
(2)地域・企業・大学等との連携	86
4 教育における国際化・情報化への対応	87
(1)多文化共生の教育の推進	87
(2)外国人児童生徒、保護者への支援	88
(3)情報社会における基礎能力の習得	89
<b>第8節 次代を担う青少年の健全育成と自立までの支援の促進</b>	<b>90</b>
1 青少年の居場所づくりと主体性の確立支援	90
(1)青少年活動の拠点施設の整備	90
2 次世代の親の育成	91

(1)異年齢交流の推進	91
(2)将来の親の役割についての理解の促進	91
3 青少年の相談支援の充実	92
(1)青少年の相談機能の充実	92
(2)青少年の非行防止	93
4 若者の職業能力の開発と就業への支援	93
(1)職業体験・職業能力開発への支援	93
(2)自立支援サポートステーションの整備	94

## 第7章 重点施策

95

1 子どもの権利学習支援と権利侵害の救済への対応	95
2 特別なニーズのある子どもへの対応の拡充	100
3 子どもの保育・教育環境の充実	102
4 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進	105
5 家庭における親育ち力の強化	107
6 地域力を生かした子どもの育成	110
7 「主体的」で「自立」した子育ちの支援	114
8 青少年活動の拠点施設の整備	119
9 自立への一步を踏み出せない若者への支援	121

## 第8章 今後の計画推進方策

123

<b>第1節 計画の推進方策</b>	<b>123</b>
1 計画の推進期間	123
2 計画の推進体制	123
(1)豊田市子どもにやさしいまちづくり推進会議	123
(2)豊田市子ども会議	123
(3)次世代育成支援庁内推進会議	123
<b>第2節 計画の評価のしくみと評価指標</b>	<b>124</b>
1 利用者視点に立った計画の点検・評価の必要性	124
2 評価のしくみ	124
(1)評価の対象と時期	124
3 各レベルの評価の具体的方法と評価指標	125
(1)基本施策の個別事業の評価	125
(2)重点施策の評価	125
(3)計画の総合評価	125





## 【計画策定に関する子どもの参画】

130

1 地域の子どもの意見聴取	130
2 意見の特徴	131
3 子ども会議からの意見反映	133
4 子ども会議からの子どもにやさしいまちづくり提言	134

## 資料編

136

1 策定経過・策定体制	137
(1)策定経過	137
(2)豊田市子どもにやさしいまちづくり推進会議委員(委員29名)	139
(3)諮詢	140
(4)答申	140
(5)豊田市子どもにやさしいまちづくり推進会議・ 子ども総合計画検討部会委員(委員8名)	142
2 市民の参画	143
(1)豊田市子ども総合計画に関する市民意向調査の実施	143
(2)ヒアリングの実施	145
(3)パブリックコメントの実施	146
豊田市子ども条例	147
豊田市子ども規則	154